



## JICA 中部研修員受入事業において 「あいくる」をPRしました

「愛知県リサイクル資材評価制度」(愛称「あいくる」)は、2002年4月の運用開始から15年が経過し、公共事業において広く定着してきております。

こうしたなかで、2015年に「持続可能な開発目標(SDGs)」が世界共通の目標として国連持続可能な開発サミットで採択され、我国のリサイクルに関する知見や技術を活かすことが求められています。

この度、JICA中部主催の2017年度課題別研修「総合的な廃棄物管理(全般)」の一単元に講師として参加する機会を得られたため、下記により「あいくる」を活用した資源の有効利用の取組みを紹介しました。

当日研修生からは、熱心な質問が寄せられ、リサイクルに対する関心の高さをうかがい知ることができました。今後も持続可能な社会の実現に向けた活動を続けていきたいと考えています。

### 記

#### 1. 日時

平成30年1月29日(月)

午前10時から午前11時30分(講義)

午後1時30分から午後3時00分(見学)

#### 2. 場所

(講義)愛知県庁自治センター

(見学)あいくる材製造工場(再生加熱アスファルト・再生路盤材)

#### 3. 研修員

13名(アフガニスタン、ブータン、カンボジア、フィジー、ミャンマー、  
パプアニューギニア、東ティモール、ベトナム)



講義終了後



あいくる製造工場